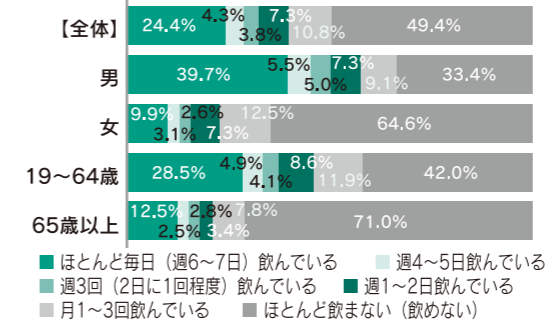


令和3年度健康づくりに関する調査結果の概要のお知らせ②

広報はっぼう9月9日号に続き、健康づくりに関する調査結果をお知らせします。この調査は、町の健康づくりの取り組みを見直しする際に参考にするために実施しています。詳しい調査結果は町ホームページにも掲載しています。

● 飲酒

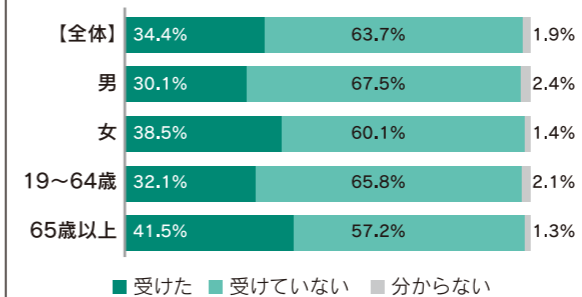
お酒（アルコール類）を飲みますか



「ほとんど毎日飲酒している女性」の割合が前回調査時（H28:6.6%）よりも増加しました。コロナ禍による女性の飲酒量増加が報告されていますが、過度の飲酒は生活習慣病リスクを高めるため、飲酒習慣の見直し、適正な飲酒量の知識の普及・啓発が必要です。

● 歯の習慣

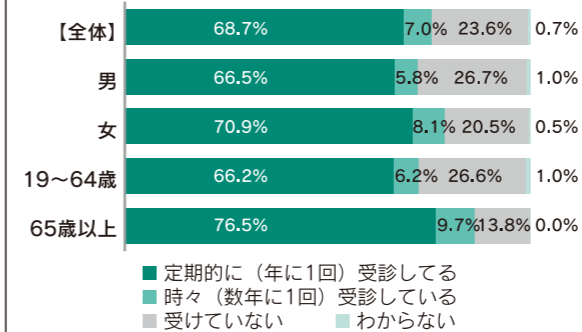
ここ1年の間に歯科健診（治療以外）を受けましたか



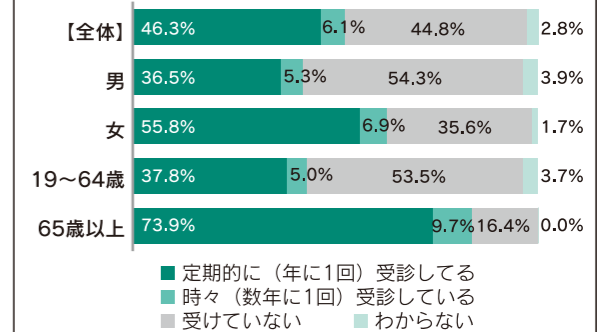
今回の調査結果は前回調査結果と同様でした。歯と口腔の健康を維持するためには、定期的な受診と普段のセルフケアが重要です。生涯を通じて歯の健康を保つことができるよう歯の健康に関する知識の普及・啓発に努め、各世代に応じた取り組みを推進することが必要です。

● 検（健）診（人間ドック・職場健診を含む）の受診状況

特定健康診査

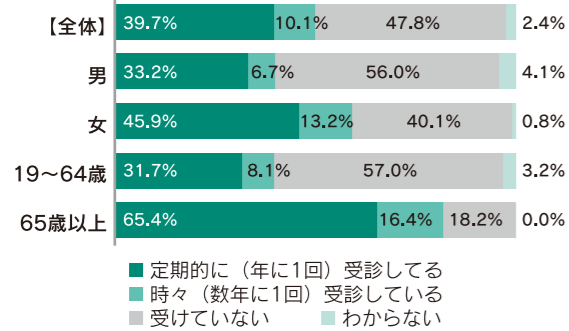


肺がん検診

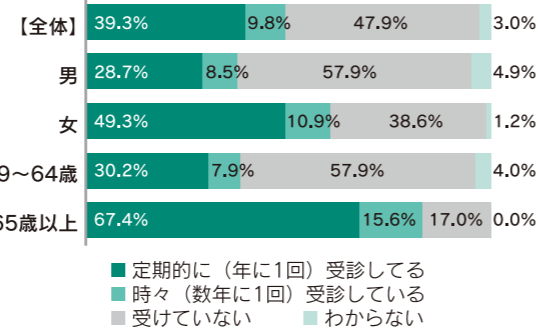


■ 問合せ先 福祉保健課 健康推進係 ☎76-4608

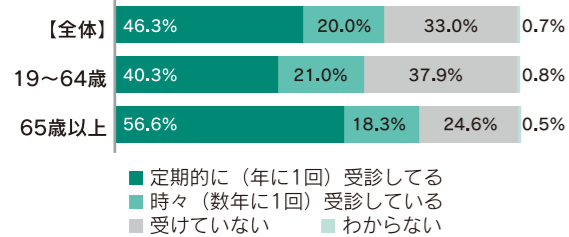
胃がん検診



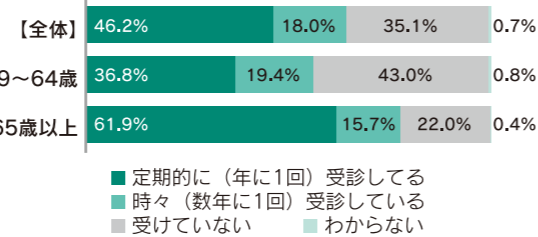
大腸がん検診



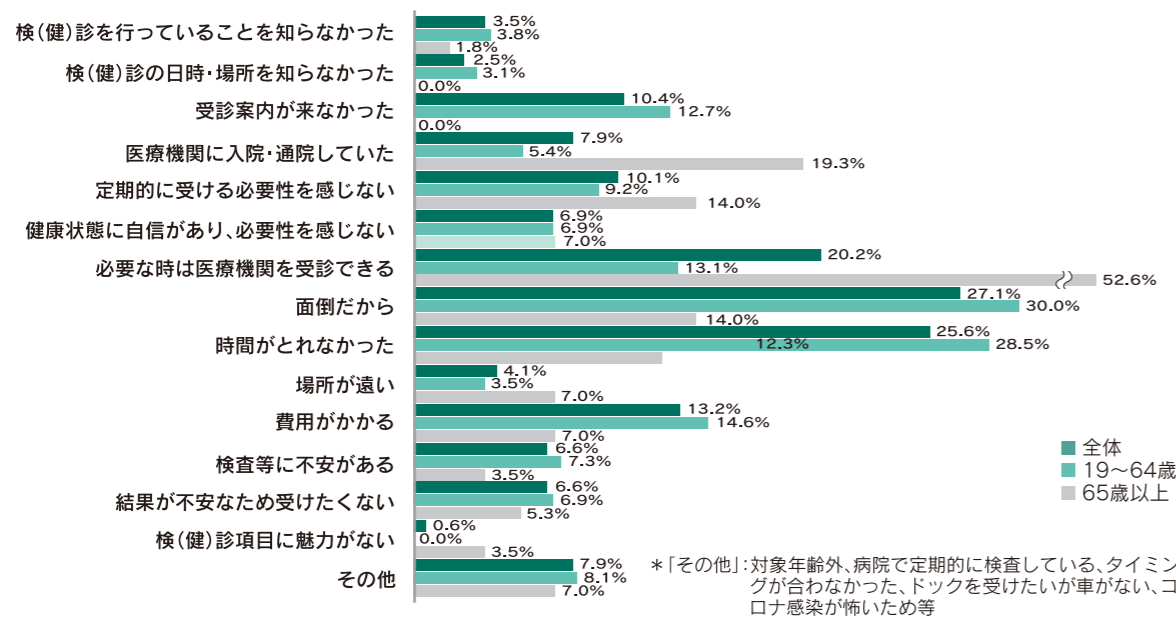
子宮がん検診



乳がん検診



検（健）診を受診しない理由は何ですか（複数回答）



今回の調査結果によると、「19～64歳の各がん検診受診率」は約3割、「65歳以上の各がん検診受診率」は約6割で、特に働き盛り世代のがん検診受診率が低いことがわかりました。また、19～64歳の検（健）診を受けない主な理由は「面倒」「時間がとれなかった」が最も多い結果となりました。

日本では2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで死亡するという現状があります。がん検診は自覚症状が無い状態で行われることから、がんが進行していない状態で発見することができます（早期発見）。がん検診にはメリットだけでなく、デメリット（偽陰性、偽陽性、過剰診断等）もあります。そのため、メリット・デメリットの内容を理解し、定期的ながん検診を受けることが大切です。